

第2クール 意見文テーマ

「デザイナーベビー」についてあなたの考えを800字以内で述べなさい

☆ 今日の目標

1. 「デザイナーベビー」を巡る問題について、多面的に考えることができる。
2. 「デザイナーベビー」に対する自分の意見を論理的に述べることができる。
3. 他者の意見を聞き、自分の意見を深めることができる。

○今日の活動 「デザイナーベビーについて議論しよう」

- 1 別紙の文章2つを読み、デザイナーベビーに対する自分の意見(賛成・反対)をワークシートの【ワーク①】に記入する。
- 2 グループメンバーの意見を聞き取り、別紙ワークシート【ワーク②】に記録する。
- 3 グループの意見交流の結果を【ワーク③④】で整理する。

☆ 本時の振り返り

	もう少し ←————→ できた				
①社会の課題について深く考えるようになった。	1	2	3	4	5
②社会の課題について他の問題とのつながりも考えるようになった。	1	2	3	4	5
③自分の意見をわかりやすく伝える工夫をするようになった。	1	2	3	4	5
④他者の意見を聞き客観的に捉えるようになった。	1	2	3	4	5
⑤多くの意見から問題点を整理し、論点を明確にするようになった。	1	2	3	4	5
⑥議論が深まる質問を考えるようになった。	1	2	3	4	5

☆＜今後の活動の流れ＞

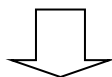
- 9 / 8 (木) 専門的な話を聞く① (倫理的側面より)
- 9 / 15 (木) 専門的な話を聞く② (技術的側面より)
- 9 / 22 (木) 論点整理 (読む・調べる)
- 9 / 29 (木) 文理混合議論 (賛否/どのような観点で論文を展開するか)
- 10 / 6 (木) 意見文800字作成  
(論文作成までに参考にしたい資料があれば各自で準備しておく)
- 10 / 13 (木) サイレントダイアログ

# <論文作成のためのワークシート1>

3年( )組( )番( )

【ワーク①】…別紙の文章2つを読み、デザイナーベビーに対する自分の意見(賛成・反対)を理由・根拠を交えてまとめる

「デザイナーベビー」に対する自分の意見は…	
	理由説明
①遺伝子解析技術に対して(賛成・反対)	
②遺伝子操作技術に対して(賛成・反対)	



【ワーク②】…他者の考えを理由・根拠を交えて記録する  
→特に自分と異なる視点・観点を中心にメモをとる

メンバーの意見(①)	メンバーの意見(②)
①遺伝子解析技術に対して(賛成・反対)	①遺伝子解析技術に対して(賛成・反対)
②遺伝子操作技術に対して(賛成・反対)	②遺伝子操作技術に対して(賛成・反対)
意見の内容	意見の内容

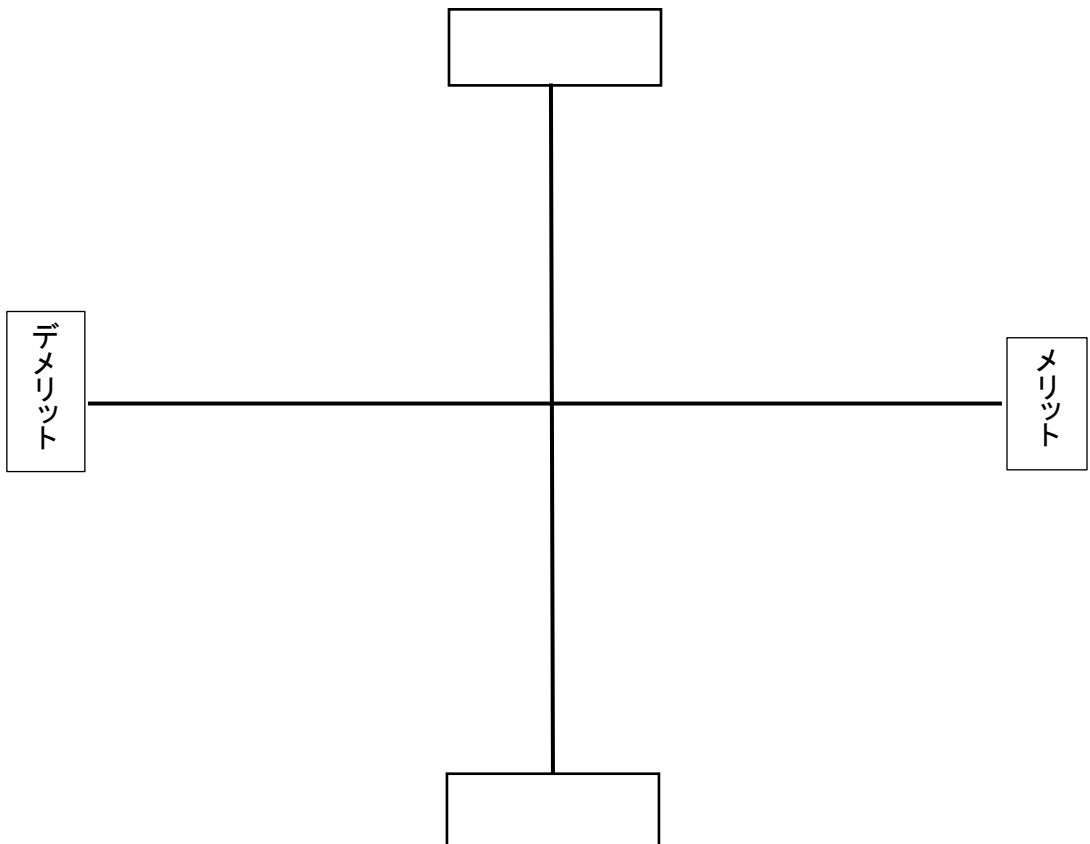
メンバーの意見(③)	メンバーの意見(④)
①遺伝子解析技術に対して(賛成・反対)	①遺伝子解析技術に対して(賛成・反対)
②遺伝子操作技術に対して(賛成・反対)	②遺伝子操作技術に対して(賛成・反対)
意見の内容	意見の内容

【ワーク③】仮にデザイナーベビーを作成することが可能な社会になったら、どんな現象が起こりうるだろうか？様々な観点から考えられる具体的な現象をできるだけあげて、メリット・デメリットに分類し、グループで書き出してみよう。

メリット	デメリット

【ワーク④】論点整理

デザイナーベビー技術のメリット・デメリットを2つの軸を決めてグループでまとめてみよう。（模造紙にクラス名・全員のメンバー氏名・マトリックス表を作成して下さい。）





○ 1990年代の「新優生学」～分子生物学を背景に～

○ 「新優生学」の論理

<論点整理>



2 レクチャーを受けて論文に入れられそうな自分の意見。

<タイトル>

「デザイナーベビー」についてあなたの考えを 800 字以内で述べなさい。

☆ 本時の振り返り

レクチャーについて	もう少し ←————→ できた				
① レクチャーの内容に興味を持つことができた	1	2	3	4	5
② 「社会の課題」について深く考えるようになった	1	2	3	4	5
③ 多くの意見から問題点を整理し、論点を明確にするようになった	1	2	3	4	5

次回9月15日(木)は「技術的側面からの講義を聴く」です。

3年( )組( )番( )

☆ 今日目標

1. 技術的側面に関するレクチャーの内容を理解できる。
2. レクチャーの内容を参考にして、論文作成に必要な新たな視点を得ることができる。

○今日の活動 「技術的側面に関するレクチャーを聞いて考えよう」

1 レクチャーメモ

○ ゲノム編集とは？

- ・ゲノム = ( ) → ( ) が作られる  
( ) が変化 → ( ) が変化 → 形質が変化
- ・筋肉量が2倍の牛・・・筋肉の増加を抑える物質( ) を壊す
- ・ゲノム編集にかかる操作時間・・・( )  
→ ( ) に操作すれば全細胞に

○ ゲノム編集のしくみ

- ・( ) = 古細菌がウイルス感染に対抗するための機能  
→ 遺伝子配列の特定の場所を探し出して( )  
→ 狙った遺伝子を壊す = ( )  
→ 狙った遺伝子を入れる = ( )  
→ ( ) で ( ) できるところがこれまでと大きく違う

○ ゲノム編集の例

○ ゲノム編集の問題点

○あなたはどうか考える？

- 問① ゲノム編集によるアレルゲン除去卵(食物などへの) あり?・なし?
- 問② エイズ等の病気治療のためのゲノム編集(体細胞への) あり?・なし?
- 問③ エイズ患者の子どものゲノム編集(受精卵への) あり?・なし?
- 問④ 病気の予防を目的としたゲノム編集ベビー あり?・なし?
- 問⑤ 筋肉量2倍のヒト(強化を目的としたゲノム編集ベビー) あり?・なし?
- 問⑥ マラリア原虫に耐性のある蚊を放ち、生態系を変える あり?・なし?

2 レクチャーを受けて論文に入れられそうな自分の意見。

<タイトル> これまでのレクチャーをふまえて  
「デザイナーベビー」についてあなたの考えを 800 字以内で述べなさい。

① 問い

② 考え

③ 根拠

☆ 本時の振り返り

レクチャーについて	もう少し ←————→ できた				
① レクチャーの内容に興味を持つことができた	1	2	3	4	5
② 「ゲノム編集」について深く考えるようになった	1	2	3	4	5
③ デザイナーベビーに関わる問題点を整理し、論点を明確にできた	1	2	3	4	5

次回9月22日(木)は「調べる/読む・論点整理」です。

☆ 今日の日標

1. 映像資料と論文を読んで、意見文作成のための論点整理を行う。
2. 意見文の構成を考え、次回の800字意見文作成の準備をする。

○今日の活動

意見文作成「デザイナーベビー」についてあなたの考えを800字以内で述べなさい。」についての構成を考える。

1 論点整理

○映像資料[NHK スペシャル] ゲノムテクノロジーの光と影 “神の領域” への挑戦・最前線の現場  
動画メモ

○論文（提言）を読む

「人の生殖にゲノム編集技術を用いることの倫理的正当性について」

日本学術会議

○論文に入れられそうな自分の意見

- 意見文の読者対象は、政治家、大学教授、有識者を想定して書くこと。
- 現状を踏まえた上で、未来（将来）についての意見文となるように書くこと。

**意見文テーマ**

**「デザイナーベビー」についてあなたの考えを800字以内で述べなさい。**

- ①問い どのような観点（切り口）で考えをまとめるかを考えること。  
（技術的側面・倫理的側面・法的側面など。1つに絞る必要はないがすべてを800字には書き切れない）



②考え なぜこの問いを立てたのか、なぜそう考えるのか

③根拠 その根拠となる理由は

④補足すると良い情報はないか  
レクチャーと同じ内容では考えが伝わらない。他に補足すべき情報はないか

☆ 本時の振り返り 次回9月29日(木)は「文理混合議論」です。

☆ このワークシートを持参し、「問い」「考え」「根拠」「補足」を各自が説明する。

論点整理について	もう少し ←————→ できた				
① 映像資料や論文の内容に興味を持つことができた	1	2	3	4	5
② 「ゲノム編集」について深く考えるようになった	1	2	3	4	5
③ デザイナーベビーに関わる問題点を整理し、論点を明確にできた	1	2	3	4	5



3年（ ）組（ ）番（ ）

☆ 今日の目標

1. 各自が発表を行い、よりよい論文にするために意見交換をする。
2. 「デザイナーベビーに関する課題」について論文の構成を考える。

○各グループ内で順番に発表し、他のメンバーが意見を述べる

発表者：前回のワークシートの「問い」「考え」「根拠」「補足」を発表する。

他のメンバーの意見を聞いて、改善点を見つける。

他のメンバー：発表を聞いて下記のメモを作成し、質問・意見・アドバイス・感想を述べる。

○質問・意見・アドバイスをするためのメモ

○他のメンバーの意見を聞いて・・・

○裏面の文章構成シートを作成する。

これまでのレクチャーをふまえて  
「デザイナーベビー」についてあなたの考えを 800 字以内で述べなさい。

○日本学術会議資料のような、国への提言を意識して記述すること。

○意見文読者の想定は、政治家や大学教授、または有識者などを想定して記述すること。

○論述の観点

1. 理解力

・テーマに対して理解したことは何か

2. 構成力

・テーマに基づいて、あなたもった考えは何か

・あなたの考えを補足するために必要な情報は何か

・集めた情報をどのように組み合わせると、論理的にあなたの考えを構築できるか

3. 発想力

・あなたの考え、論理構成に、あなたの個性や独創的発想が盛り込まれているか

4. 表現力

・1～3を述べる表現が正確かつ豊かであるか

☆振り返り

内容について	もう少し			できた	
	1	2	3	4	5
①「社会の課題」について深く考えるようになった	1	2	3	4	5
②「社会の課題」について他の問題とのつながりも考えるようになった	1	2	3	4	5
③自分の意見をわかりやすく伝える工夫をするようになった	1	2	3	4	5
④多くの意見から問題点を整理し、論点を明確にするようになった	1	2	3	4	5
⑤まだ答えのない問いに取り組みたいという気持ちが強くなった	1	2	3	4	5

☆＜今後の活動の流れ＞

10 / 6 (木) 意見文作成 (参考にしたい資料があれば各自で準備しておく)

13 (木) サイレントダイアログ (意見交換)

20 (木) 中間考査

文章構成シート 意見文テーマ「デザイナーペーパー」についてあなたの考えを800字以内で述べなさい。日本学術会議資料のような、国への提言を意識して記述すること。

150字程度	500字程度			150字程度	題名
おわりに	結論①	本論①		はじめに	
		反論	根拠		
					3 年 組 番 名前

3年（ ）組（ ）番（ ）

## ☆ 今日の日標

1. 「デザイナーベビーに関する課題」について論文を作成できる。

## ○論文のタイトル

これまでのレクチャーをふまえて  
「デザイナーベビー」についてあなたの考えを800字以内で述べなさい。

○日本学術会議資料のような、国への提言を意識して記述すること。

○意見文読者の想定は、政治家や大学教授、または有識者などを想定して記述すること。

## [注意]

- ①意見文のタイトルは自分で考えて自由に設定し、枠の外に記入する。
- ②年・組・番号・名前も枠の外に記入する。
- ③原稿用紙は縦書きで使用。(800字以上になる場合は裏面を使用すること)
- ④原稿用紙の使い方(右ページ参照)に従って記入すること。
- ⑤この意見文は評価の対象になります。  
誤字脱字に気をつけるとともに、丁寧な字で書くようにすること。
- ⑥次回は、文理混合クラスでの意見文読み合わせとなります。  
他の生徒もこの意見文を読んで、意見を述べることとなります。

## ☆振り返り

内容について	もう少し					できた
	1	2	3	4	5	
①「社会の課題」について深く考えるようになった	1	2	3	4	5	
②「社会の課題」について他の問題とのつながりも考えるようになった	1	2	3	4	5	
③自分の意見をわかりやすく伝える工夫をするようになった	1	2	3	4	5	
④多くの意見から問題点を整理し、論点を明確にするようになった	1	2	3	4	5	
⑤まだ答えのない問いに取り組みたいという気持ちが強くなった	1	2	3	4	5	

次回10月13日(木)はサイレントダイアログ(論文輪読)です。

必ず論文を完成させておくこと。

# 「研究Ⅲ」 第9時 デザイナーベビー①

授業日：8/18（木）7限

## 1 目標

1. 「デザイナーベビー」を巡る問題について、多面的に考えることができる。
2. 「デザイナーベビー」に対する自分の意見を論理的に述べることができる。
3. 他者の意見を聞き、自分の意見を深めることができる。

## 2 配布物

- ・教材ワークシート（B4版横2枚）、模造紙10枚、付箋16セット、セロテープ

## 3 事前準備（教員）

## 4 本時の展開案

時配	担当者の動き・ポイント	生徒の活動
42	<p><b>【導入】</b>〈10分〉 ○ワークシートを2枚配付。「赤ちゃんをデザイン？米で特許 倫理面に批判」「遺伝子操作の時代」の記事を読ませ、ワーク①を記入させる。</p> <p><b>【展開1】</b>（10分） ○4～5人グループを作るよう指示、記入した内容を互いに紹介しあい、ワーク②を記入するよう指示する。</p> <p><b>【展開2】</b>（15～20分） ○ワーク③、ワーク④をグループで話し合いながら書き込み、意見を共有する。ワーク④はプリントと同時に付箋に書き、模造紙に貼りながら軸の取り方を考える。</p> <p><b>【展開3】</b>（10～5分） ○ワーク④の模造紙を前後黒板（もしくは壁）に貼り、グループごとの論点整理のしかたを知る。 →時間があれば、代表者にどんなまとめ方をしたのか、発表させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記事を読み、【ワーク①】を記入。</li> <li>・互いに書いたものを紹介し合い、【ワーク②】を記入。</li> <li>・各グループで話し合い【ワーク③④】を書き出す。</li> <li>・グループの代表者は模造紙を黒板に貼る。意見発表に備える。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の振り返りを書かせる</li> <li>○次回の連絡</li> <li>デザイナーベビーについて専門的な話しを聞く（プラタナスタイム）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りを記入する。</li> </ul>

## 5 次時の展開 9/8（木）研究Ⅲ

デザイナーベビーについて専門的な話しを聞く

# 「研究Ⅲ」 第10時 デザイナーベビー②

授業日：9 / 8 (木) 7限

## 1 目標

1. 鈴木先生のレクチャーの内容を理解できる。
2. レクチャーの内容を参考にして、論文作成に必要な新たな視点を得ることができる。

## 2 配布物

- ・教材ワークシート (B4版横1枚)

## 3 事前準備 (各教室)

- ・タブレット (ご用意をお願いします)

## 4 本時の展開案

時配	担当者の動き・ポイント	注意点
休み時間 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教室にてタブレット立ち上げ</li> <li>○タブレットとプロジェクターは有線接続で(要アダプター)</li> <li>○研究ⅢClassroom を立ち上げ、Meet に参加する</li> <li>○マイク OFF、カメラを ON (司会、発表者3-1だけカメラ ON)</li> <li>○表示は「スピーカービュー」に</li> <li>○カメラは質問時に生徒が写るようにタブレットの向きを調整 開始が少し遅れても構いませんので、焦らず準備をお願いいたします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困った時は隣のクラスの先生へ</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始の礼は行いません。</li> <li>→全クラスの接続が確認できたら</li> <li>○講師紹介 (司会：3-8 鈴木聡)</li> </ul>	
30	【鈴木俊邦先生によるレクチャー】〈30分〉	
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>【質疑応答】〈10分〉</li> <li>○質問がある生徒がいたら「手を挙げる」で表明、該当生徒をカメラの前まで来させて待機</li> <li>○司会がクラスを指名するので、該当クラスはマイクを ON にしクラス・氏名を言ってから質問を始める</li> <li>○司会の声に従い、質問を繰り返す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒からの積極的な発言を促す。</li> <li>・カメラまでの移動をスムーズに</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○講演終了後、本時の振り返りを書かせる</li> <li>ワークシートは各自で藤島ノートに入れて保管</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りを記入する。</li> </ul>



# 「研究Ⅲ」 第11時 デザイナーベビー③

授業日：9 / 15 (木) 7限

## 1 目標

1. 技術的側面に関するレクチャーの内容を理解できる。
2. レクチャーの内容を参考にして、論文作成に必要な新たな視点を得ることができる。

## 2 配布物

- ・教材ワークシート (B4版横1枚)

## 3 事前準備 (各教室)

- ・タブレット (各自でご用意をお願いします)
- ・有線用接続コネクタ (化学実験室においておきます)

## 4 本時の展開案

時配	担当者の動き・ポイント	注意点
休み時間 10	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教室にてタブレット立ち上げ</li> <li>○タブレットとプロジェクターは有線接続で(要アダプター)</li> <li>○研究ⅢClassroom を立ち上げ、Meet に参加する</li> <li>○マイク OFF、カメラを ON (司会、発表者 3-10 だけマイク ON)</li> <li>○表示は「スピーカービュー」に</li> <li>○カメラは質問時に生徒が写るようにタブレットの向きを調整 開始が少し遅れても構いませんので、焦らず準備をお願いいたします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困った時は近隣の教室の先生方で対応をお願いします。</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>開始の礼は行いません。</li> <li>→全クラスの接続が確認できたら</li> <li>○講師紹介 (司会：3-8 鈴木聡)</li> </ul>	
30	【技術的側面のレクチャー】〈30分〉	
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>【質疑応答】〈10分〉</li> <li>○質問がある生徒がいたら「手を挙げる」で表明、該当生徒をカメラの前まで来させて待機</li> <li>○司会がクラスを指名するので、該当クラスはマイクを ON にしクラス・氏名を言ってから質問を始める</li> <li>○司会の声に従い、質問を繰り返す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒からの積極的な発言を促す。</li> <li>・カメラまでの移動をスムーズに</li> </ul>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○講演終了後、本時の振り返りを書かせる</li> <li>ワークシートは各自で藤島ノートに入れて保管</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りを記入する。</li> </ul>

# 「研究Ⅲ」 第12時 デザイナーベビー④

授業日： 9 / 22 (木) 7限

## 1 目標

- ・映像資料と論文を読んで、意見文作成のための論点整理を行う。
- ・意見文の構成を考え、次回の800字意見文作成の準備をする。

## 2 配布物

- ・ワークシート片面 (B4版) 論文作成のためのワークシート
- ・映像資料[NHKスペシャル] ゲノムテクノロジーの光と影 “神の領域” への挑戦・最前線の現場
- ・論文「人の生殖にゲノム編集技術を用いることの倫理的正当性について」  
日本学術会議
- ・生徒用タブレット (調べ学習に使う場合)

## 3 事前準備 (教員)

- ・タブレット (動画は研究ⅢClassroom内)

## 4 本時の展開案

時配	担当者の動き・ポイント	生徒の活動
1	○本日の目標の説明	
7	○映像資料を見る。5分間	
7	○次に、論文を読み解く。 →この日本学術会議の提言は皆さんが書く意見文の模範例です。 →7分で打ち切る。	・この論文は意見文の模範例であることを伝える。
30	○9 / 29 (木) 文理混合議論に向けて、「問い」「考え」「根拠」「補足」をワークシートに記入させる。 →「補足」に関してはタブレットを用いて調べても良い。 次回の活動の流れを説明する →次回は、文理混合クラスでワークシートに書いたことを各自に説明してもらいます。必ず、次回までにワークシートを完成させること。  ○次時の予告 移動クラスを確認させる。 文理クラスを解いて意見交換をするので、ワークシートを移動クラスに持参するように伝える。	・振り返り (ワークシート表面) を記入する。  ・必要なメモを取れるよう筆記用具、藤島ノート (下敷き用) を持参

## 5 次時の展開 9 / 29 (木) 文理混合議論

# 「研究Ⅲ」 第13時 デザイナーベビー⑤

授業日：9 / 29 (木) 7限

## 1 目標

- ・「デザイナーベビーに関する課題」について論文の構成を考える
- ・ワークシートをもとに発表し、よりよい論文にするために意見交換をする。

## 2 配布物 前回作成したワークシート (B4版、1枚)

## 3 事前準備 (教員) 座席表・ワークシート・文章構成シート

## 4 本時の展開案

時配	担当者の動き・ポイント	生徒の活動
事前	○3～4人の班ごとに着席させる。 (文理が隣どうしになるように席を板書で指定する)	
23分	○各グループで順番に発表し、他のメンバーが意見を述べる 発表者：前回のワークシートの「問い」「考え」「根拠」「補足」を発表する。 他のメンバー：発表を聞いて、質問・意見・アドバイス・感想を述べる。  グループ内で繰り返す。	・ワークシートを記入する。
20分	○文章構成シートを作成する。	
2	○本時の振り返りを書かせる →個人の振り返りができれば良いので、ワークシート回収の必要はありません。 ○今後の活動の流れを説明する →次回、論文作成。完成できなかった場合は来週までに考えておくよう伝える。各自必要な資料があれば準備しておく	・振り返り(ワークシート)を記入する。

## 5 次時の展開

- 10 / 6 (木) 意見文作成 (参考にしたい資料があれば各自で準備しておく)
- 13 (木) サイレントダイアログ (意見交換)
- 20 (木) 中間考査

# 「研究Ⅲ」 第14時 デザイナーベビー⑥

授業日：10/6（木）7限

## 1 目標

1. これまでの学習内容を踏まえた上で、自分の意見を論理的に述べることができる。
2. 他者の意見を理解した上で質問などを行い、自分の意見をさらに深めることができる。

## 2 配布物

- ・意見文ワークシート（B4版横1枚）

## 3 事前準備（教員）

- ・特になし

## 4 本時の展開案

時配	担当者の動き・ポイント	生徒の活動
2	○作文用ワークシートを配付する。	
40	<p>【展開】（40分）</p> <p>○各自、意見文を書かせる。</p> <p>これまでのレクチャーをふまえて 「デザイナーベビー」についてあなたの考えを800字以内で述べなさい。</p> <p>○日本学術会議資料のような、国への提言を意識して記述すること。 ○意見文読者の想定は、政治家や大学教授、または有識者などを想定して記述すること。</p>	今回作成した論文は評価の対象となることを伝える。
3	<p>○提出について確認する 書き切れない者は次回（26日）までに完成させる （欠席者にも必ず伝えてください）</p> <p>○次時の予告 論文を用いて読み合いをするので、絶対に完成させて持参するように伝える。</p>	

## 5 次回の展開

10/13（木）サイエント・ダイアログ（論文読み合わせ）

# 「研究Ⅲ」 第15時 デザイナーベビー⑦

授業日：10/13（木）7限

## 1 目標

1. 他者の意見文を読み、内容を理解した上で、適切な質問を考えることができる。
2. 自分の意見文に対する質問に対して、適切に返答することができる。

## 2 持参物

- ・意見文を書いた意見文ワークシート（B4版横1枚）

## 3 事前準備（教員）

- ・付箋紙2色（90枚×2冊×2色）
- ・書き直し用作文用紙（希望者）
- ・第3クールに向けての分科会アンケート（生徒配布用）
- ・報告用紙

## 4 本時の展開案

時配	担当者の動き・ポイント	生徒の活動
事前	○5人～6人の班ごとに着席させる。（文理混合ではありません） 班の数は各クラス指定がございます。別紙の班数でお願いします。	必ず5名もしくは6名 でお願いします。
35	○サイレント・ダイアログ（紙上対話） ・まず、A色の付箋に意見文を読んだ上で「質問」を書く。 ①褒める＋詳しく説明や根拠を求めるもの ②褒める＋具体的な例示を求めるもの ③褒める＋別の視点や意見を提示するもの →これを各班内で3度繰り返し、チーム内で意見文を読みあう。 →全員分読むことはできないがそれでよいとする。 ・本人のところに意見文が戻ってきたら、貼り付けられたA色の付箋に対して、B色の付箋にそれぞれ「応答」を書く。 ・「応答」が書けたら、それを再度回し直して、互いの「応答」を読む。  ※意見文は付箋を貼り付けたまま回収する。意見を受けて書き直したい生徒は11月中に直接担当教員に提出する。	・教員の説明を聞く  ・A色付箋を書く (8分)×3回 ・B色付箋で返答する (10分) ・返答を読む
10	【次回の連絡およびグループ分け】 ○分科会アンケート用紙を配布し、次回以降の自分の担当する分科会を決定する。 ○次回は各分科会に分かれて2回の講座を実施。その後本日と同じグループに再度集まり報告会を行い、論文作成となる。 ○班の中でテーマ1～5が重ならないよう分担し、報告用紙に記入して提出する。	

## 5 次回の展開

- 10/27（木）AI分科会①・11/10（木）AI分科会② 11/17（水）報告会  
11/24（木）情報整理・文章構成 12/8（木）意見文作成・12/15（木）サイレントダイアログ